

男女共同参画推進に関するアンケート結果

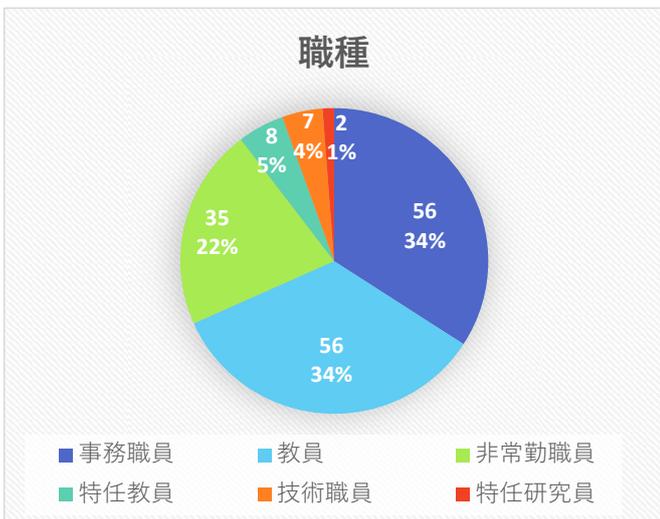
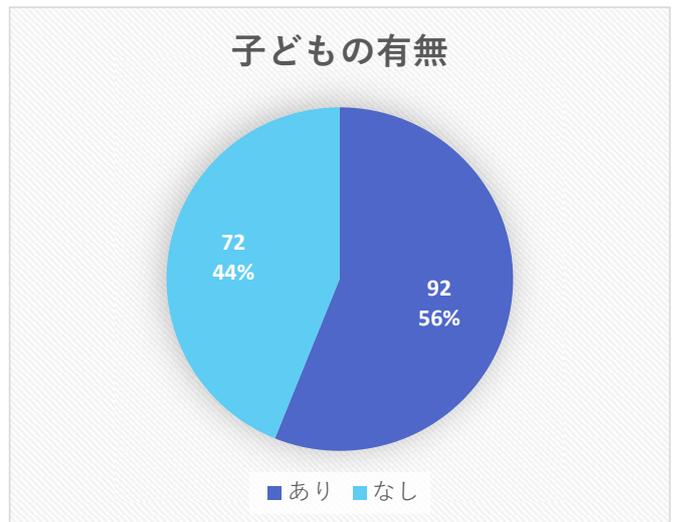
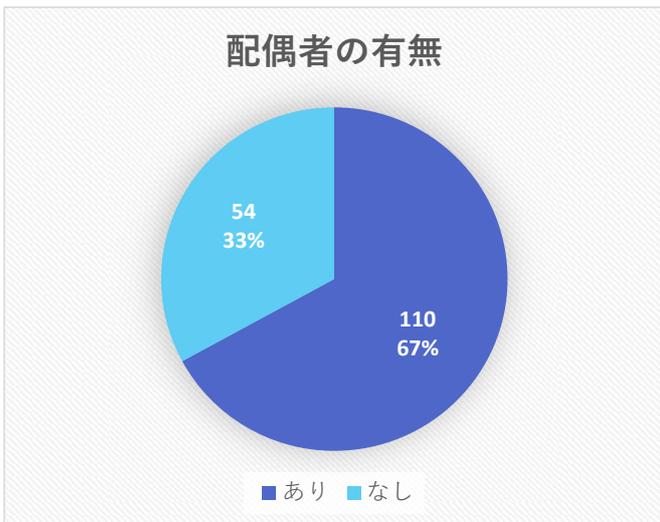
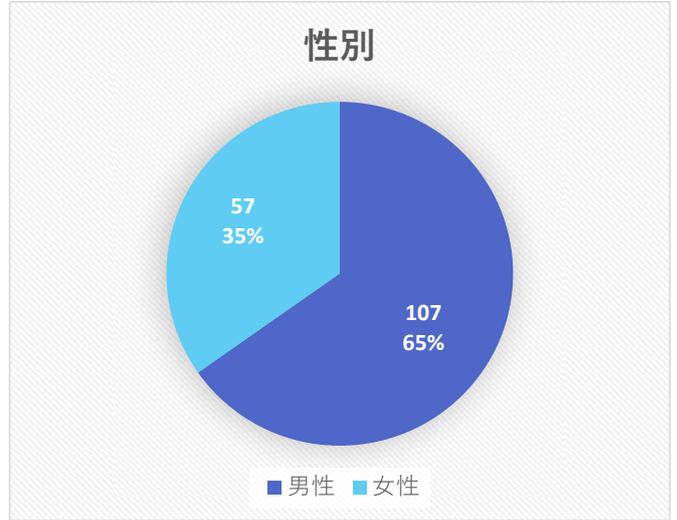
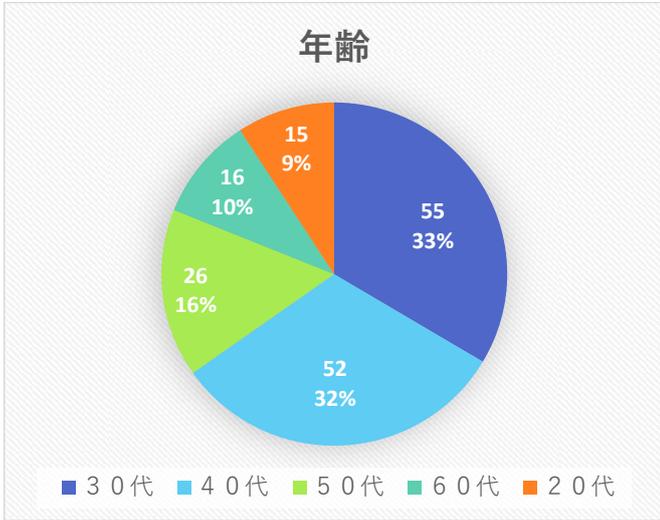
【男女別】

	男	女	合計
対象人数	223	134	357
回答	107	57	164
回答率	48%	43%	46%

【年代別】

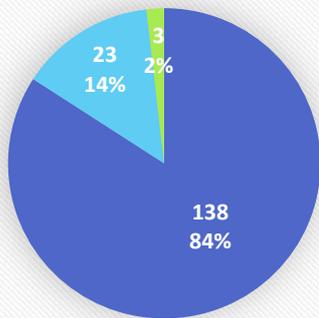
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
対象人数	0	26	106	97	76	52	357
回答	0	15	55	52	26	16	164
回答率	0%	58%	52%	54%	34%	31%	46%

アンケート対象者（教職員及び非常勤職員：H29年2月時点）



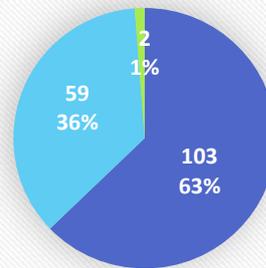
男女共同参画推進に関するアンケート結果

1 本学に「男女共同参画推進室」が設置されていることを知っていますか。



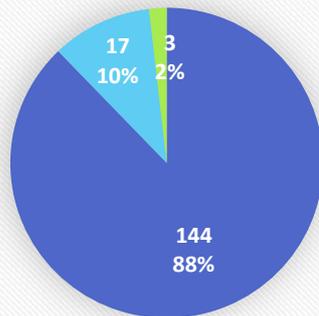
■ 知っていた ■ 知らなかった ■ 無回答

2 本学に「男女共同参画推進のための基本方針」が掲げられていることを知っていますか。



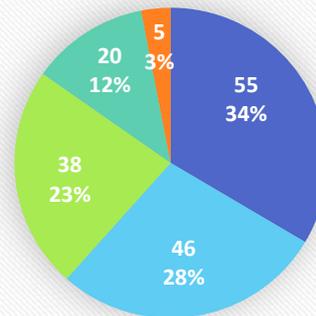
■ 知っていた ■ 知らなかった ■ 無回答

4 育児休業・子の看護休暇は男性も利用できることを知っていますか。



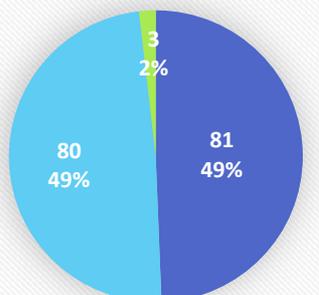
■ 知っていた ■ 知らなかった ■ 無回答

3 現在ないし将来において、仕事と育児の両立に不安を感じることがありますか。



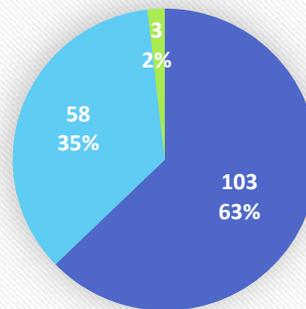
■ ない ■ 少しある ■ ある ■ わからない ■ 無回答

5 子の看護休暇（小学校就学前の子を看護するための休暇年10日）が本学ではすべての職員が有給であることを知っていますか。



■ 知らなかった ■ 知っていた ■ 無回答

6 子の看護休暇は、子の定期健診や予防接種のためにも使えることを知っていますか。



■ 知らなかった ■ 知っていた ■ 無回答

男女共同参画推進に関するアンケート結果

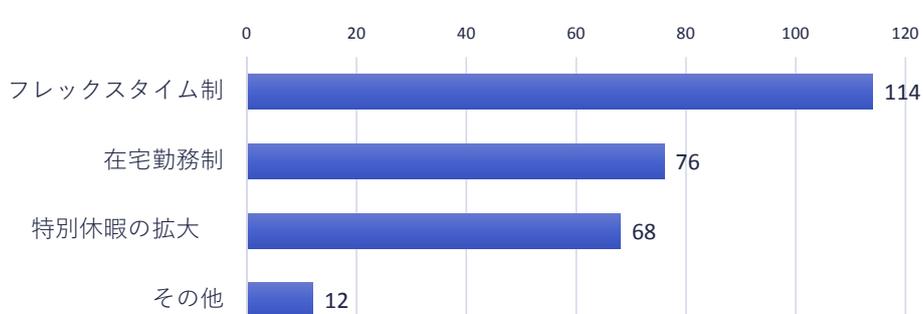
7 育児支援のための環境整備やシステムとして何が必要だと思いますか。（複数回答可）



その他の主な回答

- ・ 人員の補充
- ・ 業務量の軽減
- ・ 病児、病後児、休日保育等の設定
- ・ 説明会等による周知
- ・ フレキシブル勤務

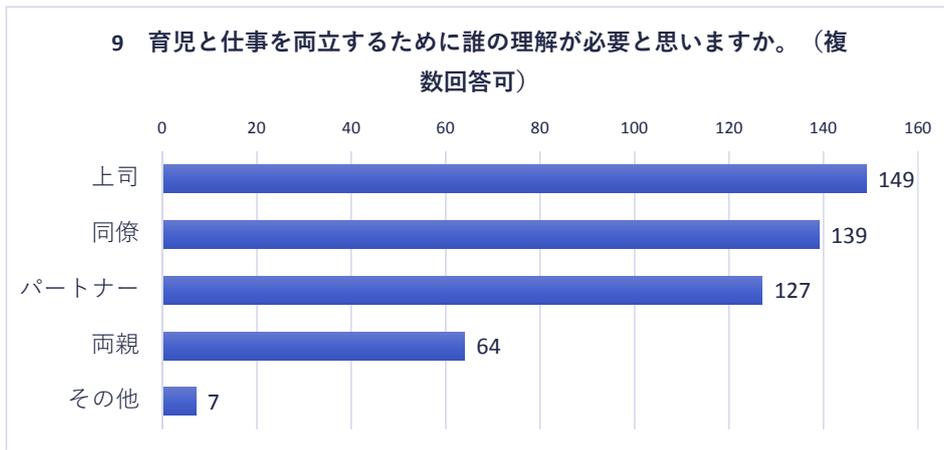
8 育児と仕事を両立するための支援として何が必要だと思いますか。（複数回答可）



その他の主な回答

- ・ 人員の補充
- ・ 業務量の軽減
- ・ 子の看護休暇の日数、対象年齢の拡大
- ・ 金銭サポート
- ・ 職場の理解

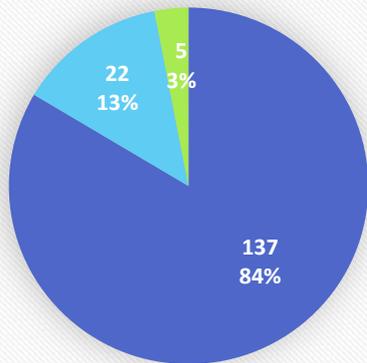
男女共同参画推進に関するアンケート結果



その他の主な回答

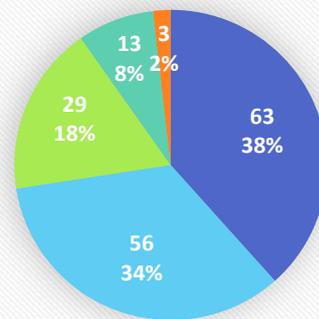
- ・社会全体
- ・執行部
- ・学内全体

10 これまでに介護の経験がありますか。



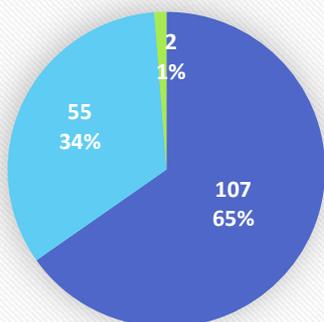
■ ない ■ ある ■ 無回答

11 現在ないし将来において、仕事と介護の両立に不安を感じることがありますか。



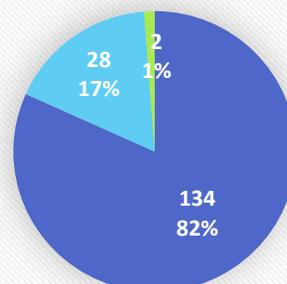
■ 少しある ■ ある ■ わからない ■ ない ■ 無回答

12 介護休暇(介護を必要とする家族が一人の場合は年5日、二人以上の場合は年10日)が本学ではすべての職員が有給であることを知っていますか。

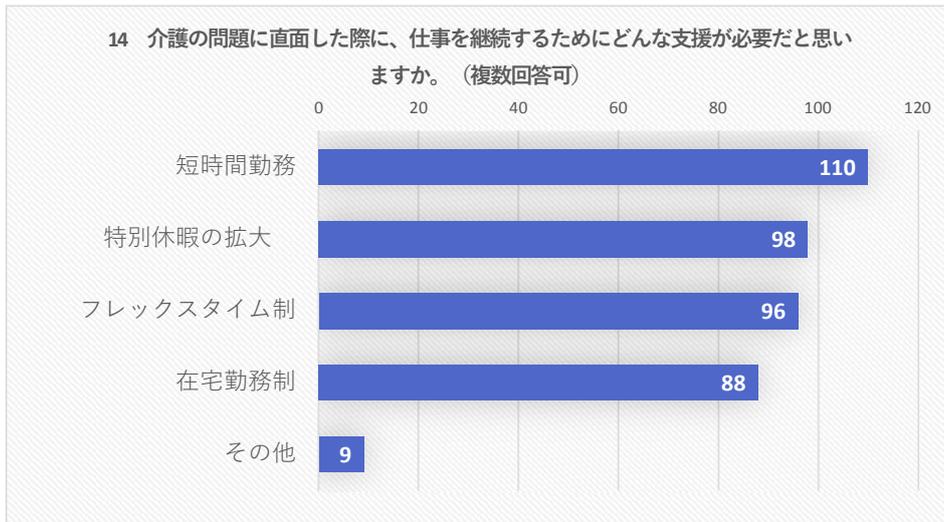


■ 知らなかった ■ 知っていた ■ 無回答

13 「介護休業」「介護休暇」は、「介護保険制度上の要介護認定」を受けていなくても「(2週間以上)常時介護を必要とする状態」であれば対象となることを知っていますか。

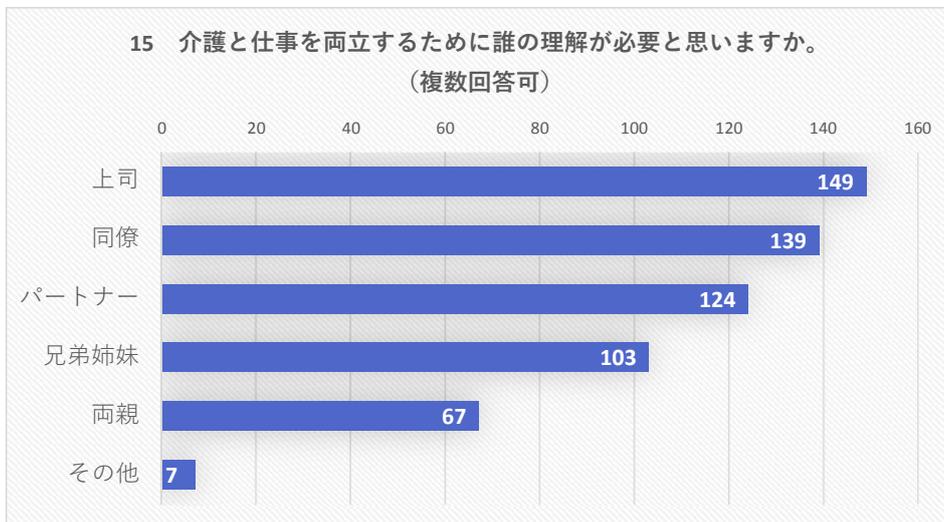


■ 知らなかった ■ 知っていた ■ 無回答



その他の主な回答

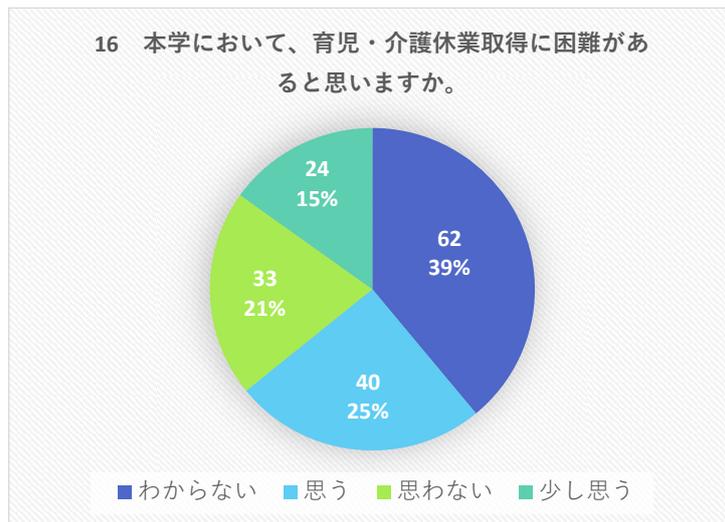
- ・ 人員の補充
- ・ 業務量の軽減
- ・ 介護休暇日数の増加
- ・ 介護施設利用の助成金
- ・ 仕事・身分の保障



その他の主な回答

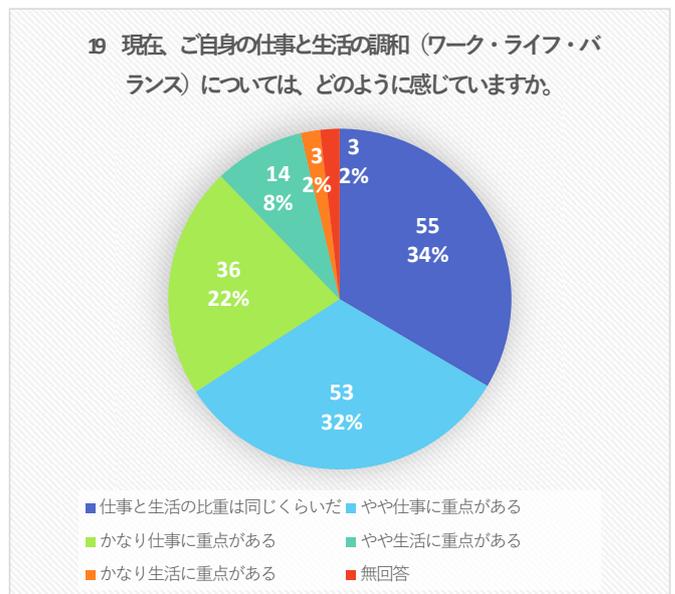
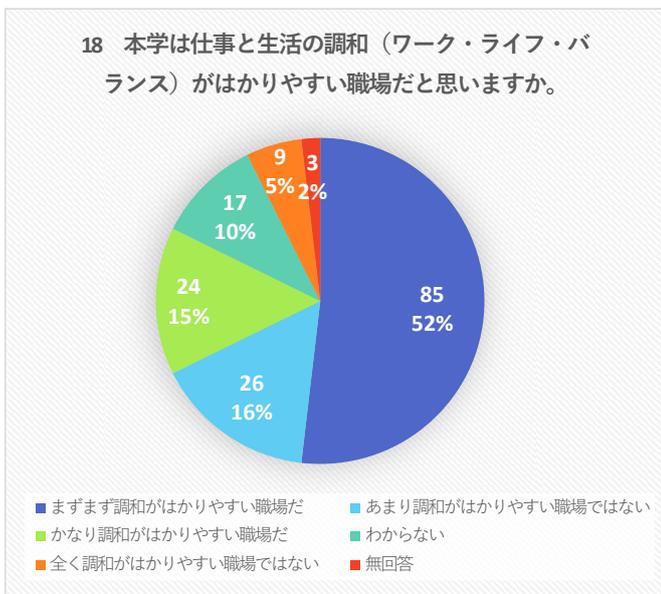
- ・ 社会全体
- ・ 執行部
- ・ 学内全体

男女共同参画推進に関するアンケート結果

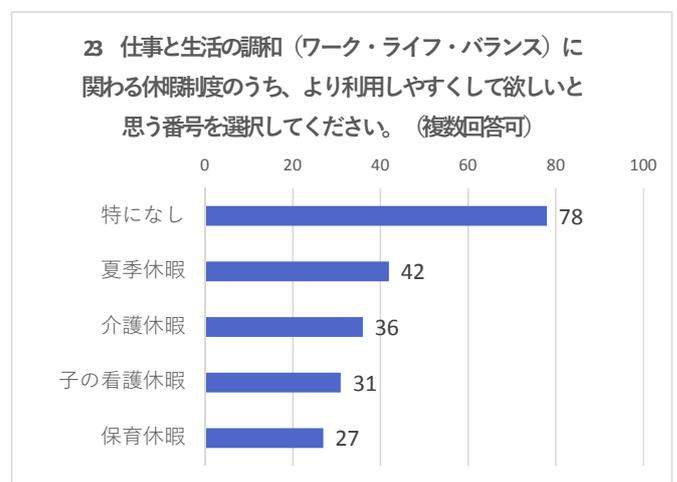
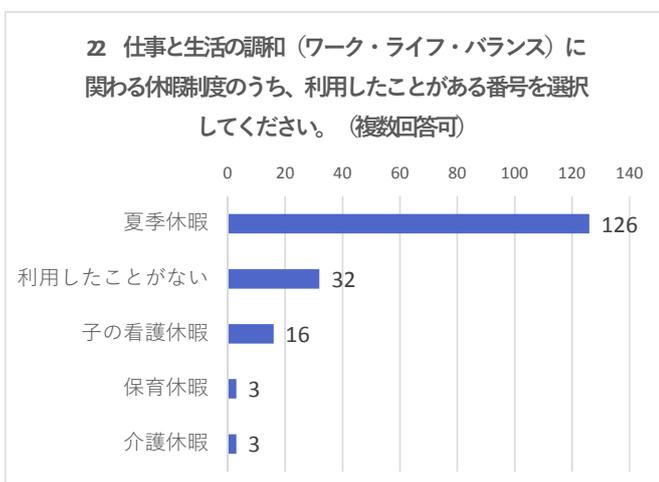
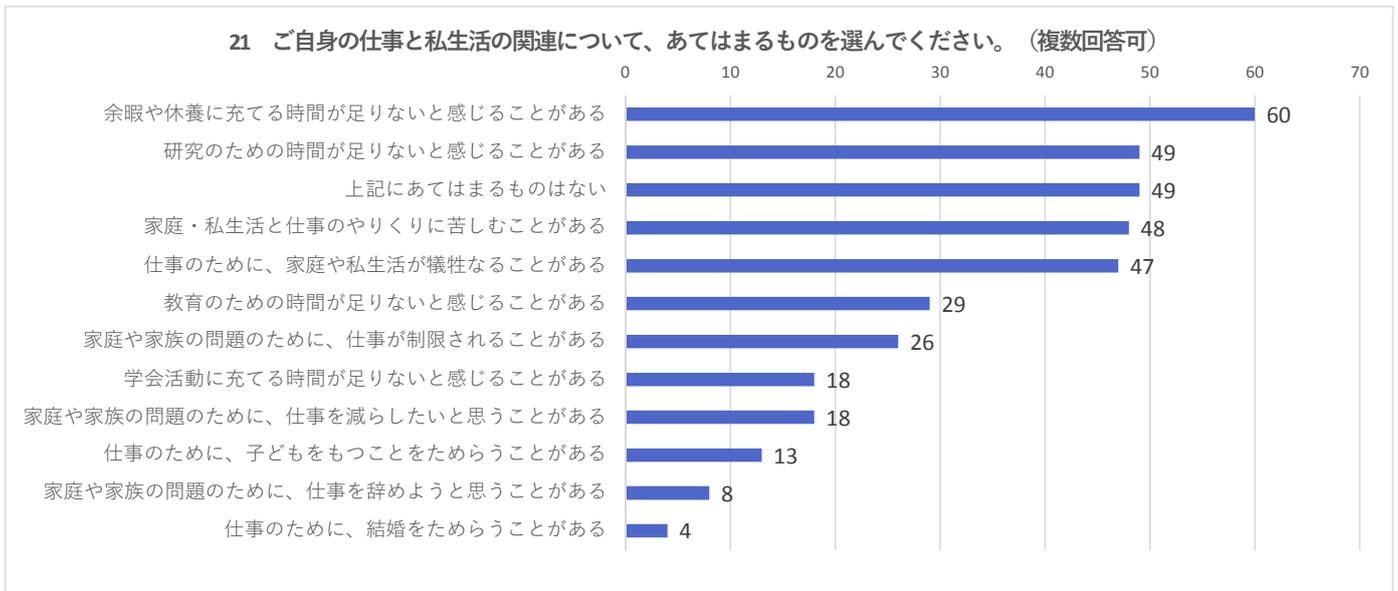
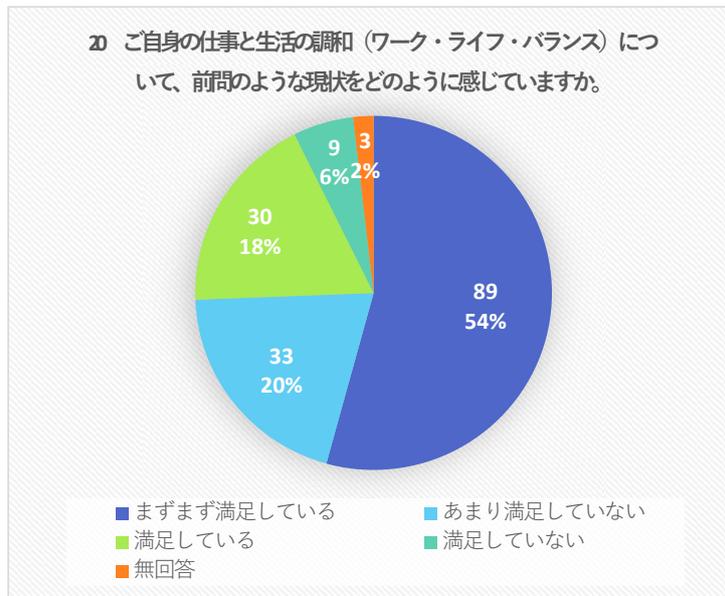


17 前問で「思う」、「少し思う」と答えた方の主な理由
(前問16 本学において、育児・介護休業取得に困難があるとおもいますか。)

- ・ 代替人員の確保が困難
- ・ 他人にかかる負担を憂慮
- ・ 人員不足、業務過重
- ・ 制度説明不足
- ・ 育児・介護にかかる移動距離の問題
- ・ 介護休暇取得条件が厳しい



男女共同参画推進に関するアンケート結果

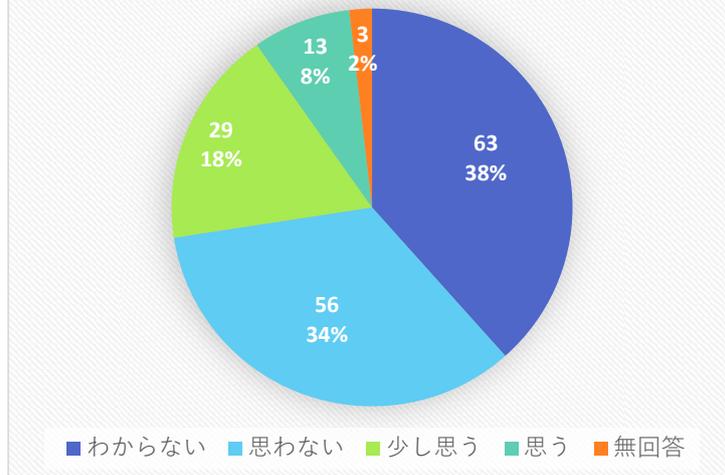


男女共同参画推進に関するアンケート結果

24 前問で選択した休暇制度はどうしたら利用しやすくなると思うかの主な回答。
(前問23 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関わる休暇制度のうち、より利用しやすくして欲しいと思うものを選択してください。)

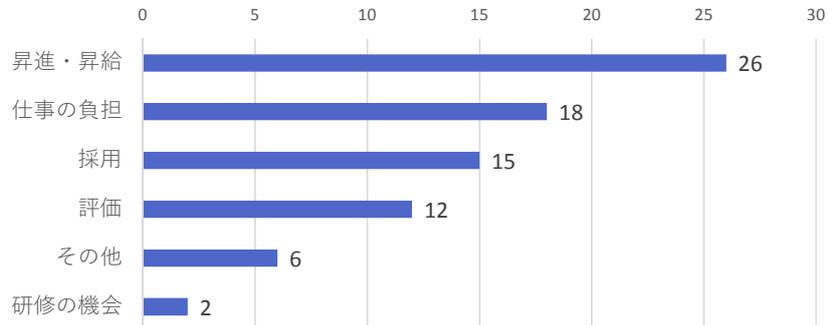
- ・一斉休業日の設定
- ・業務のサポート体制を整備
- ・業務量の削減
- ・連続した休暇を促す周知・ルール化
- ・人員の補充
- ・土日業務の分散化
- ・不取得におけるペナルティ化
- ・職場の理解
- ・職員の率先した取得
- ・人員確保・増員
- ・不取得におけるペナルティ化
- ・補講期間の設定
- ・夏季休暇、保育休暇、子の看護休暇、介護休暇の日数拡大
- ・夏季休暇の範囲の拡大
- ・夏季休暇における不連続休暇の許可
- ・子の看護休暇の対象年齢の拡大

25 本学において、性別による処遇の差があると思いますか。



男女共同参画推進に関するアンケート結果

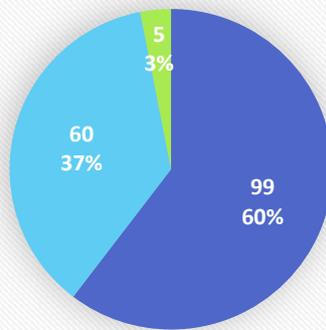
26 前問で思う、少し思うとお答えの方にお聞きします。どのような面で性別による処遇の差があると思いますか。（複数回答可）
（前問25 本学において、性別による処遇の差があると思いますか。）



その他の主な回答

- ・女性教授・女性管理職の少なさ
- ・台所当番が女性職員のみ
- ・女性に対する unnecessary な採用優遇措置

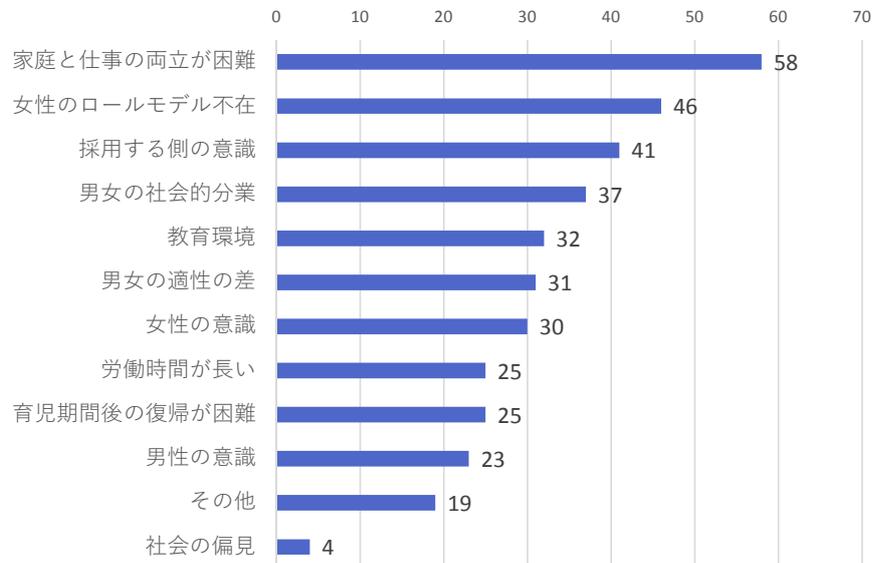
27 本学の教員の女性比率が、全国立大学の中で下位にあることを知っていますか
（国立大学協会調べでは、86校中、77位（平成28年））



■ 知らなかった ■ 知っていた ■ 無回答

男女共同参画推進に関するアンケート結果

28 第4期科学技術基本計画では女性研究者の採用目標が農学系・自然科学系は30%とされ、第5期科学技術基本計画では速やかに達成することが求められておりますが、本学においては12%と大きく下回っています。考えられる主な理由を3つ以内で選んでください。



その他の主な回答

- ・ 地域の問題（雇用、立地等）
- ・ 農学系女性研究者がそもそも少ない
- ・ 配偶者都合による退職
- ・ 組織改革等による人事硬直化
- ・ 魅力的な職場ではない
- ・ 力仕事と動物に合わせた研究が多い

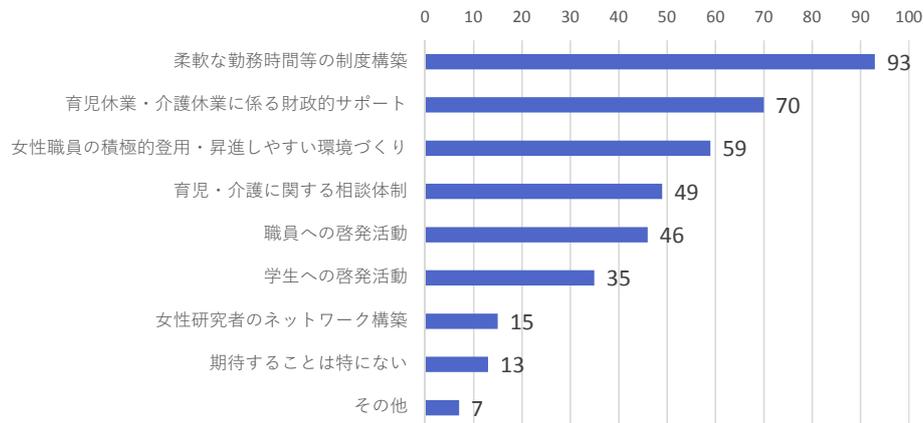
29 女性教員を増やすためには何が必要だと思いますか。3つ以内で選んでください。



その他の主な回答

- ・ 学内保育施設
- ・ 教員候補の進路を一定数確保

30 本学の男女共同参画推進室の活動について、どのような成果を期待しますか。3つ以内で選んでください。



その他の主な回答

- ・業務サポート体制を整備
- ・業務量の削減

31 その他、本学の男女共同参画推進等についての主なご意見（自由記述）

- ・男女間差別の撤廃（採用・昇進）
- ・育児・介護休暇の日数拡大
- ・育児と仕事の両立ができる職場環境づくり
- ・差別撤廃が目的であるのに、女性に対する数値を追求するのはおかしい
- ・女子学生に対する教員としての進路の確保
- ・制度の説明・周知の徹底
- ・学内保育施設の設置
- ・男女共同参画推進という企画そのものが疑問
- ・残業・休日出勤前提の意識改革
- ・子どもを持つことでキャリア上で不利にならないような体制づくり
- ・有給休暇の取得しやすい環境づくり
- ・北大をはじめとした他機関と協力した女性研究者支援
- ・民間中小企業と比して、すでにかなり働きやすい職場環境はできている。